

「北海道本州間連系設備に係る広域系統整備計画」 調達プロセス・工事内容の検証について

2021年9月15日
広域系統整備委員会
コスト等検証小委員会事務局

北海道本州間連系設備に対する検証内容

■ 北海道本州間連系設備の検証は以下の通りを行う。

1. 調達プロセスの検証

東京中部間連系設備における主要設備ごとの発注方式の基本的な考え方と比較し、基本的な考え方の妥当性を検証する。

2. 工事内容（工事費）の検証

- ① 実施案や過去の工事实績との対比（物量に応じた工事費となっているか）。
- ② コスト低減施策を行っているか。
- ③ 実施案や過去の工事实績の概算工事に比べて増加する見通しとなった場合には、増加要因・理由や対応策。

3. 工事内容（工期）の検証

- ① 広域系統整備計画の工事完了時期に対しての変化内容・理由。
- ② 工期短縮に向けた事業実施主体の取組・方策も確認。
- ③ 広域系統整備計画の工事完了時期から遅延する見通しとなった場合には、対応策の検証。

1. 調達プロセスの検証

- ① 北海道本州間連系設備に係る広域系統整備計画のうち、北斗変換所、今別変換所増強工事の調達プロセスについては、より安価な事業者を決定する一般競争を採用するなど、事業実施主体が示す調達プロセスに関する基本的な考え方と整合している。
- ② 競争入札を採用しており、調達における競争環境は確保されている。
- ③ コスト低減については、RFP方式により、自励式変換設備と調相設備を一体とした効率的な機器仕様・機器レイアウトの提案を受けることが可能で、メーカーの技術力を活用できる調達方式を採用しており、プロジェクト全体として現時点で考える採用可能な方策が検討されている。

2. 工事内容（工事費）の検証

- ① 過去実績に比べ遜色ないことを確認した。
- ② 調相設備の統合や所内変圧器の省略など、工事費全体として現時点での適正な検討が行われている。
- ③ 実施案や過去の工事実績の概算工事に比べて増加する見通しはない。

3. 工事内容（工期）の検証

- ① 広域系統整備計画策定時点の工事完了時期に対して、当初の予定工期内で可能となっており、現時点では特に問題は無い。
- ② 実施案通りの工程で進められており、調達プロセスのリードタイムを考慮した工程が設定されており、運開期確保に向けた検討が行われている。
- ③ 広域系統整備計画の工事完了時期から遅延する見通しはない。

4. 今後に向けて

北海道本州間連系設備に係る広域系統整備計画のうち、北斗変換所、今別変換所増強工事の調達プロセス・工事内容に関して提案の通り進めて頂く事となったが、

- 事業実施主体は、今回示したコスト低減への取り組みに加え、更なるコスト低減について検討を継続するとともに、その他の工事についてもコスト低減に向けた取組が行われていくことが望まれる。
- 発注手続きにあたって公平性・透明性を確保するとともに、コスト低減方策を採用した発注方式により、引き続きコスト低減に向けた取組が行われることが望まれる。